

# 写友会

お客様とキタムラをつなぐ  
コミュニケーション情報誌

特集：**桜** 日本人の心に咲く美意識の象徴

Vol.12 Spring

平成7年3月1日発行 季刊第12号

カメラのキタムラ広報室

〒222 横浜市港北区新横浜2-4-1 ☎045-476-0777



散った花びらが水面を一面に覆い、咲き誇る桜に重なって美しい。時期が早過ぎても遅過ぎてもこうした様は撮れないので、限られたチャンスを逃してはならない。

(東京都・千鳥ヶ淵)

■カメラ：リソフテクニカ レンズ：300mm 絞り：f32  
シャッタースピード：1/4秒 フィルム：RDPⅡ 三脚使用





日本人の心に咲く美意識の象徴



春。全国のあちこちで入学式が行われる頃、緊張と希望に満ちた面持ちの新生活が歩いてゆく道には、彼らの喜びを祝福するように、桜の花びらが舞い散ります。また、各地で名高い「桜の名所」には、家族や職場ぐるみで大勢の人々が押し寄せ、少しでも良い場所を取り合つての「花見の宴」が始まります。

とともに、「日本の国花」として、我が国を象徴する特別な花となつていきます。我々が桜をことのほか重んじるのは、本来日本人が農耕民族であつたことと密接に関係しています。「桜」という呼び名の語源は、「田の神」を意味する「サ」と、「掘り所・乗る所」を意味する「クラ」から成り、元々は「桜が咲く頃」＝「田の神が降りて来たので農作業を始める時期」を表していました。それゆえ桜が早く散つてしまうと稲も枯れ

てしまうと信じられ、これを防ぐための「鎮花祭」という儀式が行われて、これが花見のルーツであると考えられています。今でも農業に従事する人々にとっては、花見は農作業が忙しくなる前の憩いのひとときであり、「桜の花色が早くあせると夏の天気は良好」「白花が多く咲いた年は豊作」など、桜の開花状況によってその年の穀物のでき具合を占う伝承も、多く伝わっています。また、江戸時代の武士が「花は桜木、人は

武士」とうたい、国学者・本居宣長は「桜こそ大和心の象徴」とし、美しく散つてゆく桜を、物事に執着しない潔さや淡泊さを好む日本人の美学と重ね合わせたように、我々の精神文化の形成においても、桜は密接な関わりを持っています。毎年、テレビや新聞で「桜前線」のニュースを見聞きする頃になると、なぜだか心が騒いでしまうのは、私たちに受け継がれている「日本人の血」がなせるわざかも知れません。



バックの幹と重ね合わせて撮ることにより、桜の花ひとつひとつがくっきりと浮かび上がる。できるだけ形のいい桜を探したい。(青森県・板柳)  
 ■カメラ：リンホフテクニカ レンズ：210mm 絞り：f16  
 シャッタースピード：1/15秒 フィルム：RDPⅡ 三脚使用



独特の効果を狙った、典型的な空抜きの逆光撮影。露出とピントをいかに合わせるかが重要なポイントとなる。  
 ■カメラ：リンホフテクニカ レンズ：210mm 絞り：f11  
 シャッタースピード：1/30秒 フィルム：RDPⅡ 三脚使用

桜といってもさまざまな種類があり、それぞれ微妙に趣も異なる。まず被写体について良く知ることが、良い写真を撮るための第一歩。  
 (東京都・金剛時)  
 ■カメラ：リンホフテクニカ レンズ：210mm  
 絞り：f11 シャッタースピード：1/30秒  
 フィルム：RDPⅡ 三脚使用

桜の花の、淡く微妙なピンクの色調は、写真に表現する上で難しいポイントのひとつ。バックや周辺との対比にも注意したい。(神奈川県・紹太寺)  
 ■カメラ：リンホフテクニカ レンズ：310mm  
 ソフトフォーカスレンズ 絞り：f5.6  
 シャッタースピード：1/200秒  
 フィルム：RDPⅡ 三脚使用



岩手にある毛越寺の池で、まだ肌寒さの残る、みちのくの春をとらえた。桜だけでなく、周辺の素材にも気を配れば写真のバリエーションも広がる。(岩手県・毛越寺)  
 ■カメラ：リンホフテクニカ レンズ：210mm 絞り：f11  
 シャッタースピード：1/30秒 フィルム：RDPⅡ 三脚使用





# 日本ならではの心象風景として、桜の美しさを伝えたい。

三好和義〈写真家〉

我が国を代表する花として、また各地に春の訪れを告げる風物として、我々日本人に親しまれている「桜」。これまで「楽園」というテーマで世界中の自然を撮り続け、現在は「日本を撮る」というテーマの中で桜に注目しているという写真家・三好和義氏に、その魅力や撮影時の心構えなどについて語っていただきました。

※なお、表紙及び特集ページに掲載した写真は、すべて三好氏の作です。

## 日本人である自分を意識した時、桜を撮ろうと思ったんです。

もともと私にとって、自然を撮ることは仕事を越えて取り組んでいたことなんです。特に南の島の風景をモチーフにした写真は、数多く手がけてきました。そしてヒマラヤやアフリカなどにも撮影の場を広げていったんですが、ある時からふと自分が日本人であることを強く意識するようになって、日本人の心



桜の舞う華やかさとは対照的な、飾り気のない岩を重ね合わせることで、味わい深い風情が生まれる。桜の美しさは咲いている時だけではない。(岩手県・毛越寺)  
■カメラ：リンホフテクニカ レンズ：210mm 絞り：f32  
シャッタースピード：1秒 フィルム：RDP II 三脚使用

をとりあえている「桜」を題材とした写真を撮るようになったんです。私が今まで撮ってきた南の島の風景というのは、ある意味では我々の憧れであり、リゾートとして訪れることとはあるけれど、生活そのものではない。その点、富士山とか、桜に代表される季節の風物というのは、我々の暮らしに密着した美意識の象徴として、日本人にとって重要な意味を持っていると思うんです。実をいうと私自身、作品のモチーフとして撮り始めるまでは、桜というものをじっくりと見る機会があまりなかったんです。というのも、それまで毎年、桜の咲く時期には海外へ撮影に出かけていたもので、本格的な桜の写真としては、去年あたりから東北地方や東京近辺で撮り始めたんですが、それだけにモチーフとしてはとても新鮮に感じられるとともに、純粋に「日本人として「いいなあ」と思ったのを思い出します。

## 桜には、日本人のさまざまな感性が込められているんですよ。

桜の最大の魅力は、春を感じさせる季節感にあふれている所ですね。たとえ写真であつてもありますし、桜にはこうした日本人の持つさまざまな感性が込められているんですよ。ですから、日本人の心に訴える写真ということと考えると、これ以上の被写体はないと思いますね。

## あらゆる芸術作品のイメージが、私の写真を創っているんです。

だから自分が撮影する時には、桜を「自然」としてとらえるのではなく、日本独特の「心象風景」として、情緒的に撮りたいと思っています。言い方をかえると、「絵画的に見せる」ということかも知れませんが、そのためのひとつの技術的な手法としては、ソフトフォーカスなども良く使います。花びら一枚一枚がリアルに再現された写真よりは、桜を美しいと思う気持ちが伝わるような作品にしたいんです。また、そういう気持ちを自分が持ち続けるためにも、日頃から気に入った桜の写真集や、

夜桜の幻想的な風景を、ソフトフォーカスを使って表現してみた。アクセントとしてバックに写る城が、構図の重要な決め手となっている。(青森県・弘前城)  
■カメラ：リンホフテクニカ レンズ：210mm 絞り：f22 シャッタースピード：8秒  
フィルム：RDP II 三脚使用



## イメージどおりの桜を撮るには、綿密な下準備が必要なんですよ。

あるいは絵などを見て、撮りたい写真のイメージを思い描いておくことを、いつも心がけています。私の場合、桜については平面的表現に限らず、例えば陶器や舞台など、さらには歌舞伎の「義経千本桜」のような舞台、また「細雪」のような映画のシーンからも、イメージをもらっていますよ。これらを見た時に受けた印象を、自分の表現の参考としてイメージをふくらませておくことが、実際の作品づくりに役立つんです。

こうして得られたイメージを、うまく作品に反映させるには、「そのイメージに合った桜を実際に探す」という作業も必要になってくるわけです。私の場合、花が咲く前からあらかじめ、こればと思う樹をチェックしておいて、その桜が咲く時期を心待ちにしながら撮影の準備をすることで、自分の気持ちも盛り上げてゆけます。

また、桜の撮影は「美しく咲いている期間」も「光などの条件が適している時間」も、そして「撮影者自身の集中力が続く時間」も限られているわけですから、失敗したら撮り直しがきかないんですね。ですから、まず事前に撮りたい場所の桜に関する資料を集めたり、各地の観光局や市役所などに問い合わせ、ベストと思われる時期に2〜3日余裕をもって出かけてゆく、といった綿密な計画によって撮影を行っています。今年の「全国桜前線フォトコンテスト」で私は審査員を務めさせていたんですが、応募者の皆さんも作品づくりにあたっては、ぜひこうしたことを実行していただきたいですね。



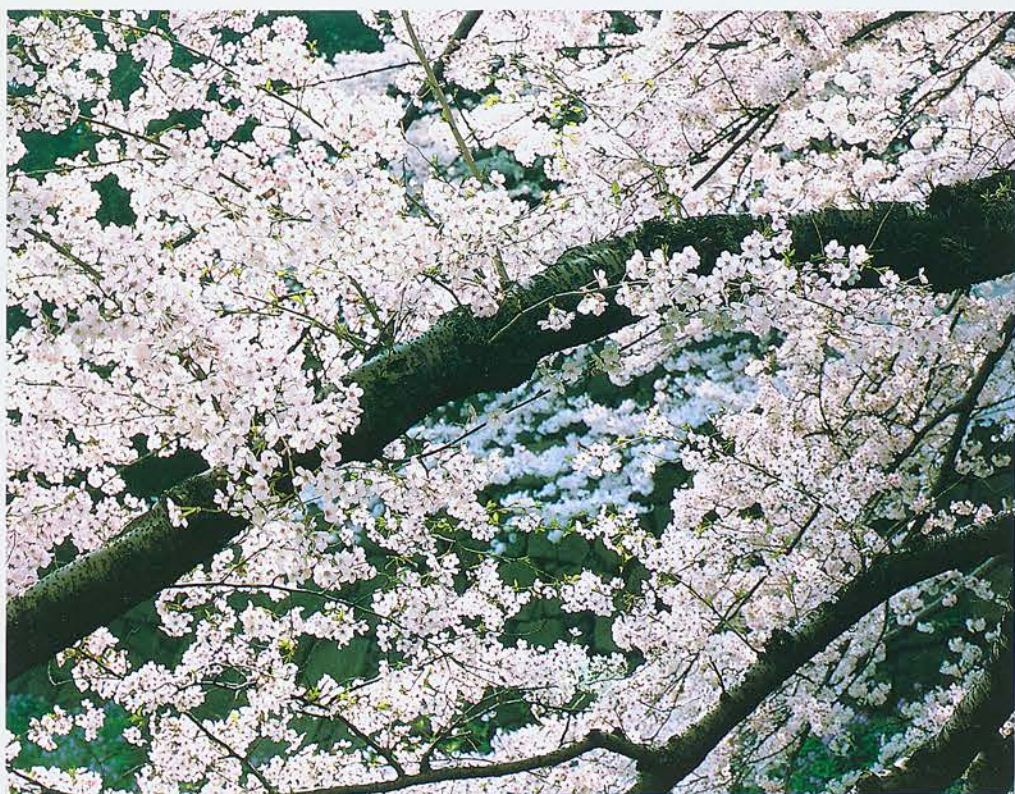
クローズアップ撮影は、花の形そのものが細部まで表現される。したがって自分のイメージにあった、形のいいモチーフを丹念に探すことが大切。(青森県・弘前城)  
■カメラ：リンホフテクニカ レンズ：210mm 絞り：f32  
シャッタースピード：1秒 フィルム：RDP II 三脚使用



上向きの逆光撮影は面白い効果を出せるが、その分フレーミングが難しい。やはり撮影のベストポジションを慎重に決めることが重要。(東京都・千鳥ヶ淵)  
■カメラ：リンホフテクニカ レンズ：210mm 絞り：f32  
シャッタースピード：1秒 フィルム：RDP II 三脚使用



みよし かずよし  
1958年徳島県生まれ。東海大学文学部卒業。1979年APA（日本広告写真家協会）特選。1986年木村伊兵衛賞。写真集：『RAKUJEN』（小学館）、「地球の楽園」（小学館）、「楽園王国TAHITI」（マガジンハウス）他。この春には「タヒチ 伝説の楽園」「イルカの楽園」「HOTEL 楽園」（すべて小学館が出版される）。



桜の枝の荒削りな感じを、可憐な花が包み込んでいるような構図。この対比の妙も、逆光撮影の方が効果的。(東京都・千鳥ヶ淵)  
■カメラ：リンホフテクニカ レンズ：210mm 絞り：f32  
シャッタースピード：1/2秒 フィルム：RDP II 三脚使用



# キタムラがおすすめる「桜の撮影場所・名所」

ここに掲載されている撮影ポイント及び写真は、第2回全国桜前線フォトコンテストの入賞者の方にご協力いただいたものです。説明番号は①=撮影者 ②=撮影場所 ③=交通手段 ④=撮影チャンス時期と時間 ※ここに掲載した撮影名所はほんの一例です。

**13** ①吉岡勝巳氏 ②岡山県真庭郡八束村 蒜山高原 ③中国自動車道落合ジャンクション・米子自動車道蒜山ICから約10分 ④4月下旬



**12** ①植田 健氏 ②岡山県真庭郡落合町吉念寺 醍醐桜 ③中国自動車道落合IC→花時計右折→落合橋右折→国道313号高梁方面→美川橋を右折→月田方面約8Km ④4月中旬 午前10時頃



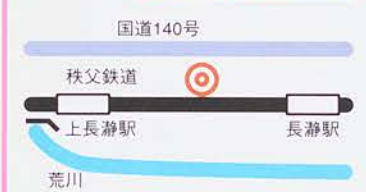
**11** ①斧 勝康氏 ②奈良県宇陀郡大宇陀町阿騎野万葉公園の近辺「又兵衛桜」 ③近鉄大阪線桜井駅からバス→大宇陀高校前下車→万葉公園を通り越し約10分 ④4月中旬 午前6時頃



**14** ①荒川勇二氏 ②広島県山県郡加計町安野 JR安野駅 ③JR可部線 安野駅 ④4月上旬 午前8時頃 朝の逆光に桜が映える



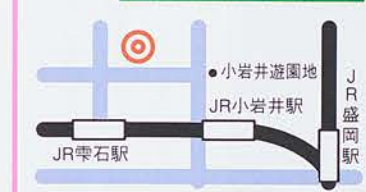
**15** ①伊奈慶一氏 ②埼玉県秩父鉄道 長瀬～上長瀬の間 ③秩父鉄道上長瀬駅から線路沿い熊谷方面へ徒歩約5分 ④4月中旬 午前8時頃



**3** ①本城克己氏 ②千葉県印旛郡印旛村吉高(通称、ヨシタカのオオザクラ) ③京成電鉄京成佐倉駅→現場まで約8Km ④4月下旬 午後2時頃 山桜のため一般の桜より開花は遅い



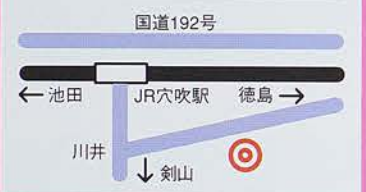
**2** ①三浦 仁氏 ②岩手県栗石町小岩井農場遊園地から栗石スキー場への道路上 ③JR田沢湖線小岩井駅→バス小岩井遊園地下車徒歩20分程度 ④4月下旬 午前が良い日中、太陽が当たっている



**1** ①林 啓氏 ②北海道虻田郡虻田町洞爺湖温泉 高動道虻田洞爺湖IC 230号→温泉入口T字路を左折、約5.6Kmの路上右側 ③JR函館線洞爺湖駅→バス洞爺湖温泉下車徒歩20分 ④5月中旬 午後1時



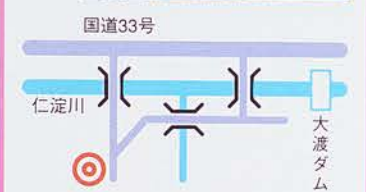
**18** ①岩崎英昭氏 ②徳島県美馬郡木屋村大北 国道458号線川井峠周辺 ③JR徳島本線穴吹駅下車徳島バス川井停留所下車峠に向かって徒歩約1時間(自家用車が有利) ④4月上旬 午前10時頃



**17** ①宮崎義久氏 ②愛媛県伊予三島 翠波高原 ③JR予讃線伊予三島駅下車、タクシー20分(翠波峰…892m) ④4月中旬 午前6時から10時 ぐらゐり翠波峰の山頂に山桜と菜の花が一面に咲



**16** ①清水恵太氏 ②高知県高岡郡仁淀村別枝本村 中越家 10889-32-1467 ③JR四国バス 松山→高知線の急行 秋葉口下車、秋葉神社へ徒歩30分 ④4月上旬 いつでも良い



**15** ①稲倉 智氏 ②鳥根県益田氏 横田町の川岸 ③JR山口線 横田駅下車北へ徒歩20分 ④4月上旬 午後6時頃



**8** ①鎌田憲次氏 ②滋賀県高島郡朽木村小入谷 ③JR湖西線安曇川駅から車→国道367号梅ノ木から小入谷方面へ入る。途中の村の茅葺き家と桜がよい ④5月上旬 午後3時頃 雨降りの日もよい



**7** ①杉田繁弘氏 ②福井県足羽公園内の白山神社境内 ③JR北陸線福井駅下車 市内バス毛矢町下車 足羽山徒歩10分 ④4月上旬 午前8時頃



**6** ①小泉 一氏 ②静岡県浜沢地内 農家の茶畑の中(私有地に付こわりを) ③JR静岡駅から車→梅ヶ島線→油島→八幡→坂之上→1Km位で右折 ④3月下旬～4月上旬 午前中の斜光から午後早めの陽



**5** ①縣 博氏 ②長野県松本市郊外北部のアルプス公園 ③JR松本駅から車10分 駐車場あり ④4月中～下旬 早朝から山の変化が面白い



**22** ①前田 林氏 ②長崎県佐世保市指方町 本仏寺境内(釜釜地) ③JR大村線早岐駅下車バス ハウステンボス西門行き終点 徒歩約10分 ④4月上旬 1日中よい(平地に1本だけ立っている)



**21** ①安藤安隆氏 ②熊本県下益城郡富合町大字木原 木原不動尊の境内 ③JR鹿児島本線宇土駅→バス隣の庄行き 木原下車、バス停から南へ150m ④3月中旬～下旬 午後6時30分頃 太陽が沈む頃



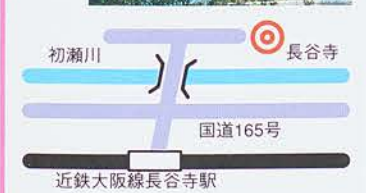
**20** ①西村 静男氏 ②大分県下毛郡三光村 八面山山頂近くの登山道から桜並木を俯瞰 ③中津から国道212号線を耶馬溪方面を相原を左へ ④4月上旬 午前10時頃



**19** ①狩野 益則氏 ②福岡市博多区御供所町 東長寺 ③JR博多駅から北へ徒歩10分 ④4月中～下旬 午後がよい



**10** ①稲垣貴正氏 ②奈良県長谷寺 ③近鉄大阪線長谷寺駅下車 ④4月上旬 午後2時頃



**9** ①林 睦美氏 ②京都市山科区西野 安祥寺川周辺 ③JR東海道線山科駅下車南へ徒歩20分 ④4月上旬 午前10時頃



カメラのキタムラ

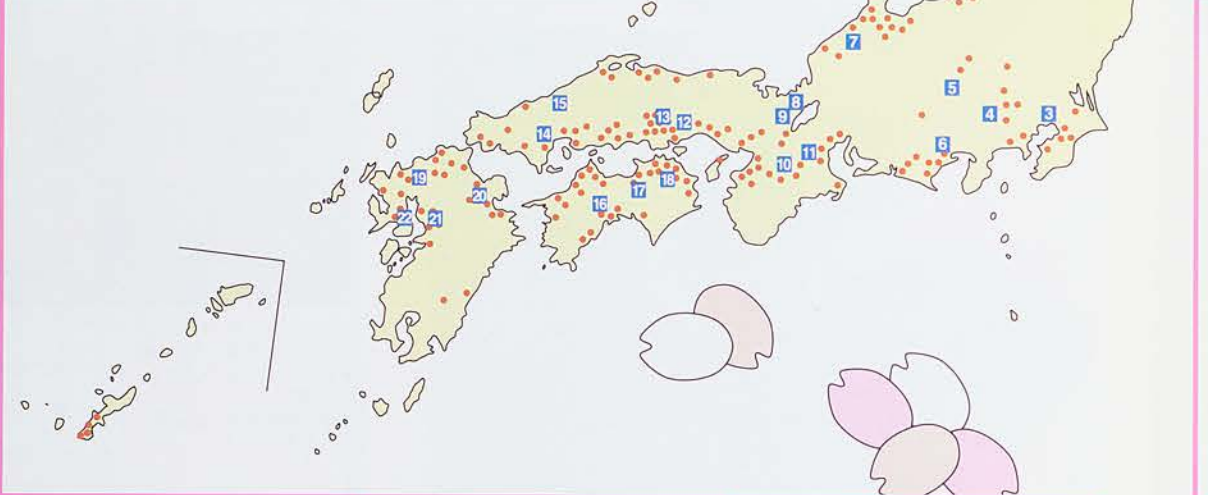
## 「第3回全国桜前線フォトコンテスト」

全国桜前線

作品募集のお知らせ=賞金総額400万円

この春、3回目を迎える全国桜前線フォトコンテスト。今回は、リバーサルプリント部門とネガカラープリント部門を設け、皆様の応募をお待ち致します。桜をメインとした風景、人物など、桜を題材としたものならなんでもOKです。詳しくは、3月上旬よりカメラのキタムラ各店で配布される応募用紙またはポスターをご覧ください。

●印はカメラのキタムラがある地域。



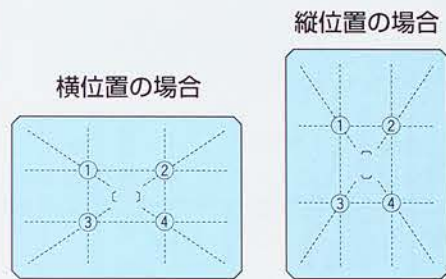




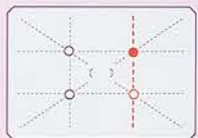
# 見た目にバランスの良い 写真づくりが構図のポイント

資料提供  
「ベントックス Z115  
黄金分割マニュアル」より

## フィルムによる黄金分割



チューリップを一輪だけ切り取っています。その一輪を右上のポイントに置き、赤と黄で右側の縦のラインを分割しています。



写真の画面構成や構図を選ぶとき、「こういうなればいけない」というようなことはありませんが、視覚的バランスの良い写真は、やはり多くの人が好む傾向にあつて、フォトコンテストなどでも入賞しているほとんどはこの構図がしっかりとっています。

**バランスがよい黄金分割**

構図の決定でよく聞く言葉に「黄金分割」「黄金比」があります。古代ギリシャを端に発していますから古い話です。これはある画面

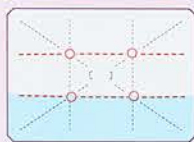
(テレビ、写真、フィルムなど)の長方形の短い方を1として長い方を1.62にすると、調和がとれた見やすい画面になるといわれているものです。35mmフィルムは24×36mmで1:1.5になります。やはり黄金比を参考に作られています。この黄金分割を参考に撮影すると、バランスの良い写真になります。参考図はフィルムの黄金分割サイズですが、各辺を3等分してそれぞれ交わった線の辺り(①②③④)にポイントを置くと、見やすい画面構成ができるとされ、見る人の視線が分かれることなく、主題が何であるかが自然に判断できることとなります。こうした意味から、よくいわれるのが「原則的に画面の2/3分割は避けよう」です。画面を同じ比率で2等分してしまうと、視線が分かれて主題を弱める結果になるからです。

### 横位置か縦位置か

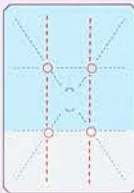
また画面構成で横位置か縦位置かで、よく迷うことがあります。原則的には広さや長さ、安定感などを強調しようとするなら横位置、高さを強く表現したい場合は縦位置と言われています。もっとも、迷ったら両方撮影することをお勧めします。特にコンテストに応募したり、作品を求めるなどでは多くの写真の中から「選ぶ」と考え、アングル、ポジションを変えて撮影すると良いでしょう。このほか三角形、対角線、トンネル型、大小対比構成といった選び方もあります。以上のことを踏まえた上で作品づくりに変化を出そうとするなら、ポイントをずらして個性を狙うのも面白いでしょう。



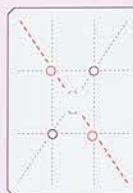
上下の2本のラインで山の稜線と地平線の位置を決め、対角線を利用して道路を入れてあります。下の分割にも注目して下さい。



サブテーマとのバランスに注目して下さい。テーマの桜は上6つのゾーンに入るようフレーミング。そしてサブの灯籠を縦2本のラインを使い左右対称になるよう配置。



対角線を利用した構図の決定法です。テーマを手前から奥に流れるように導入すれば遠近感が強調され、迫力があふれます。



テレビ画面に写された決定的瞬間や楽しい場面を「写真にできたら…」と、思われる人も多いことでしょう。それを実現したのがカラービデオプリンタです。品質も一段とグレードアップしてきれいな画像が得られます。



シャープ「プリンパル」VP-ES1



ソニー「プリンパ」CVP-M1標準セット

### シャープ「プリンパル」

プリンパル(VP-ES1)は映像出力端子のある機器(テレビ、ビデオ、パソコン、テレビゲームなど)に接続すれば、手軽にカラープリントができます。

スチール写真とは異なった点として①モニターで映像を確認しながら気に入った表情を選べる②4画面16画面のマルチプリントができ、従来にはないスナップがアルバムに残せる③同じシーンを16画面でプリントすると名刺や持ち物に貼れ、ゴルフのスイングを順番にプリントすればフォームチェックができる……が挙げられます。

また4種類のプリント対応として①標準紙プリント②スナップ、プロマイドなどの官製ハガキ直接プリント③オリジナルのハガキができます④シールプリント⑤お気に入りのシーンをラッピングシールやレターシールにできる⑥布転写プリント⑦専用の転写用シートにプリントしてそれをアイロンで布に転写……があり、目的に応じて使い分けができます。メカに弱い人にも安心の簡単操作です。

【メーカー希望価格】 五万八千円税別

### ソニー「プリンパ」

プリンパ(CVP-M1)は3月中旬に発売される新製品で、ビデオ映像を簡単にプリントにできます。特徴は次の通り。

- ①25枚連続プリント
  - ②多様なプリント
  - ③プリントバック節約
  - ④ソニーのビデオにベストマッチ
- ②多様なプリント  
オリジナルカレンダー、スーパースポーツ、カセットラベル、名刺、ワイド。
- ③プリントバック節約  
テレカとほぼ同じサイズを上下に並べて2つのシーンを一枚のプリントにできます。
- ④ソニーのビデオにベストマッチ  
ハンディカムステーション端子を装備しているハンディカムならプリンパの上面にワンタッチで接続。液晶ハンディカム(SC7を除く)ならそのままモニターでテレビとは接続不要。コントロール信号で16コマプリントしたり、まとめプリントなどの便利なプリントが楽しめます。

【メーカー希望価格】 七万八千円税別

## 知って得する 写真おもしろ話④

### 絞りが教えてくれる奥の深さ

写真を知って一番感動したのは「バック(背景)の処理が思いどおりになった時」と語るカメラマンが意外と多くおられます。バック処理に感動できるようなかなりの腕の人、プロでもいつも苦労している水遠のテーマとも言えます。そのバックを上手に処理する一つのテクニックとして、絞りを有効に駆使することが挙げられます。

絞りを開放に近くすればするほどバックがボケてきます。逆に、絞りを絞れば絞込みほどバックが明瞭に写ります。もっとも、レンズの焦点距離によって、また目的とする被写体とカメラの距離によってバックの写り具合が大きく変化します。「この程度にボケてくれればいいのだが……」と思いつながら撮影しても、

思いどおりにはなかなかないものです。コマリヤルの世界ではかなり有名なカメラマンは、この絞りによるボケを大切にしているということ、レンズによってボケ具合が違っていること、またこのかわり、メーカーによる自分の好みについて語っているくらいです。また同じ機種のカメラ数台と同じ焦点距離のレンズを数本持って来て、「このカメラとこのレンズのコンビはボケ味がいいが、このカメラ(同じ機種)の違うカメラ」とでは「悪くなる」と、徹底的にボケにこだわります。このようにレンズはメーカーによってボケが異なっており、そのボケ方で好みのカメラやレンズを選ぶ方も多くおられますが、カメラとレンズのコンビネーションまでこだわるのは「さすがにプロ」と思われるを得ません。いずれにしても「絞り」の活用いかんで、写真も大きく変わることを知っておくと、また写真の奥深さが楽しめるのではないのでしょうか。



カメラ：ニコンF4  
レンズ：AFマイクロニッコールED200mmF4D使用(絞りF4)



カメラ：ニコンF4  
レンズ：AFマイクロニッコールED200mmF4D使用(絞りF16)

「さすがにプロ」と思われるを得ません。いずれにしても「絞り」の活用いかんで、写真も大きく変わることを知っておくと、また写真の奥深さが楽しめるのではないのでしょうか。



## お便りコーナー

初めまして。写真家を拝見してペンをとりました。私の住む町田市森野にカメラのキタムラがオープンしました。写真が趣味の私にとってはとてもありがたいオープンです。明るく元気なお店のスタッフと品揃えと安さはピカイチです。町田の写真ファンにはとても素敵な出来事だと思います。これからもよろしくお祈りします。

大塚 敦子様 東京都町田市

### 「番外」桜情報

桜の撮影場所の情報を昨年の桜フォトコン入賞者からお寄せいただきましたが、その中で筆を加えていただいたお便りと参考話をご紹介します。

#### 高知・中越家紹介の清水恵太様

中越家のしだれ桜は見事で多くの方が撮影しています。初めて行った時は「これだ」と声が出て、足がふるえました。中越さんによりますと、昔はもっとすこかったそうです。天候、時間に関係なくそれなりの魅力がありますが、仕事（歯科医開業）の関係でいつもというわけにもいかずヤキモキするところ。

フォトコンに出した写真は中越さんに最盛期をうかがって午前3時頃出掛け、仕事の始まる9時までに帰りましたが、暗い現地に着いた時、夜中がんにバックの天空を回した人もいたようですから、私はまだまだとつき方が「足りない」と反省しているところ。

#### 熊本・木原不動尊紹介の安藤安隆様

この不動尊は日本三大不動尊の一つです。この住職はとても親切で、写真好きです。何回も通って下り寄って来られ「今年は〇〇日頃が満開ですヨ」と、教えて下さいました。私もこの住職のアドバイスのお陰で良い作品が撮れました。

#### 岡山・吉念寺紹介の植田 健様

この桜はヒガンザクラの一種「エドヒガン」です。樹齢は推定700年の巨樹です。伝説によりますと元弘2年（1332）後醍醐天皇が隠岐還幸の際、ここに立ち寄られて桜を植えたとも称せられ、この縁によって醍醐桜とも言われています。詳細は落合役場商工振興室（☎0867-52-1503）へ。

## 編集後記

春といえば、何といっても桜。ここ数年、世の中の景気状態はいささか停滞が続いていますが、春になって桜が咲いたら、そんな気分も吹き飛ばして、花見でイッキに盛り上がりたものですね。満開の桜を眺めていると、なぜか気分がウキウキして来て、その時ばかりは嫌なこともカラッと忘れてしまえるから不思議です。

聞くところによると、花見は平安貴族の間ではすでに行われており、江戸時代にはもう、上野をはじめ桜の名所といわれる所では、庶民が宴会を開いていたということです。その頃の三味線や鼓が現在のカラオケやラジカセに変わっただけで、このならわしが何百年も後の私たちに受け継がれていることを考えると、「やはり自分も日本人なんだなあ」とあらためて感じさせられます。

さて、花見のドンチャン騒ぎで盛り上がるのも楽しみです。この桜の季節にぜひ皆さんに挑戦していただきたいのが、キタムラが主催する「全国桜前線フォトコンテスト」。各地方のさまざまな桜を見ることができると、審査する側も毎年楽しみにしています。皆さんの身近にある桜をモチーフに、傑作・力作が撮れましたら、ふるって応募ください。

## すごいフィルムが誕生した!!

世界3大メーカー「ドイツ、アグファ」社製  
カメラのキタムラオリジナルカラーフィルム

# “四季物語”新登場



キタムラが  
自信をもって  
おすすめ

カメラのキタムラが自信をもっておすすめする、ドイツアグファ社製・オリジナルカラーネガフィルム“四季物語”を販売いたします。

このフィルムは美しいカラー写真を求めるお客様に最適で、しかも24枚撮3本パック498円（1本当たり166円とお買い得）、1本売りが198円と驚きのお買い得価格で新登場。スナップ写真を始め、あらゆる撮影に適しています。

### カラーの再現性、鮮鋭性、描写力が自慢

“四季物語”はフィルムの世界3大メーカーの一つであるドイツ・アグファ社の通常商品「アグファカラーXGR 100」を、キタムラオリジナルデザインでドイツにて印刷されたパッケージで包装したカラーネガフィルムです。ヨーロッパでは多くの人に親しまれ愛用されています。カラーの再現性、高度な鮮鋭性や描写力はヨーロッパでは「本物のクオリティである」と、すでに多くの方達から高い評価を得ています。ドイツの写真専門誌「カラーフォト誌」ではナンバー1の商品として絶賛しています。

### 大伸しサイズもクリアな写真が得られます

ISO感度は100で画像のシャープさがさらに一段と高まり、驚くほどの鮮鋭さでリアルなディテール描写はもちろん、画像の深みが増しています。また、粒状性が細くなったことで大伸しサイズにしても鮮やかさと粒子の荒れは目立ちません。サイズを選ばずどなたにも手軽にお楽しみいただけます。

カメラのキタムラが自信をもっておすすめする超お買い得カラーフィルムです。是非、一度お試し下さい。

# キタムラ・インフオメーション



210mm+6X  
(1.25倍撮影)

時計の等倍



300mm+12X  
(4倍撮影)

300mm+24X (8倍撮影)

**35mmミクロ探検隊がおもしろい**  
春と言えは「花」。  
自然の花を大写して見る世界は、未知の映像を見るようで新たな感動を呼びます。さらに花だけでなく種々の物体も、従来とは異なった魅惑の映像をかもし出してくれます。  
これらの撮影に欠くことのできないものとしてマクロレンズが挙げられます。等倍までのマクロレンズは各社から販売され、等倍あるいはそれ以上の倍率になりますと、ベローズの使用や接写リングを用いるなど特殊な撮影となりますが、吉田産業から「一眼レフのレンズ前面に装填するだけで、最高8倍まで倍率が高められる「35mmミクロ探検隊レンズ」レインックスCM3500」が簡単にマクロからミクロへの撮影を可能にしています。  
このミクロ探検隊は3本（6X、12X、24X）

のレンズと52mmのフリーサイズホルダー（カメラレンズと探検隊とを接続）がセットになっており、撮影する花や物体、構図などにより倍率の違う3本のレンズの中から選定してカメラレンズの前面にセッティングします。基本的には望遠系レンズ70mm以上300mm前後に装填します（注意1150mmでも撮影できないことはないが周囲が蹴られます）。300mmレンズを使用して6Xは4倍になり、24Xでは



「35mmミクロ探検隊」で撮影した作例です

8倍になります。固定焦点レンズだけでなく、ズームレンズにも使用できますから、70mm210mmズームを持つていると、3本のレンズの組み合わせで0.5倍から5倍の世界が撮影できることとなります。  
このように手軽に撮影できますが、望遠になればなる程、レンズと被写体との距離が短くなり300mmで24Xのレンズを装填すると約35mmの超近接で8倍の世界になりますから、三脚を使用しての撮影となります。また撮影の内容によっては絞り込みますから、当然スロースシャッターになって手持ちでは難しくなりますので、撮影時には三脚使用をお勧めします。  
AFで撮影もできますが、焦点をカメラがつかめず入らなうまで時間を要しますのでマニュアルの方が合わせ易いと言えます。  
今春以降、このミクロ探検隊でマクロ、ミクロの世界を貴方のモノにしてはいかがでしょう。価格も18,000円（メーカー希望価格）と手頃です。

## キタムラおすすめ、春・花の撮影に……

## 楽しみなキタムラフォトコン今後の予定

カメラのキタムラでは、数多くのフォトコンテストを実施していますが、より多くの方が参加できますよう、今後の予定をご紹介します。

#### 全国桜前線フォトコンテスト

実施予定時期

平成7年3月20日～6月5日

今年で第3回を迎えます。九州から上陸した桜前線は北海道まで順次北上します。隠れた撮影ポイントはまだまだあることでしょう。

#### チビッコ写真コンテスト

実施予定時期

平成7年7月10日～8月31日

お母さんの参加が多く、お母さんならではの写真は数多く入選しています。

#### 全国紅葉前線フォトコンテスト

実施予定時期

平成7年9月20日～12月5日

審査員を困らせる素晴らしい写真が寄せられ、各講師から「レベルの高いフォトコン」と折り紙付きです。

#### ペットふれあい写真コンテスト

実施予定時期

平成8年1月10日～2月28日

人とのふれあいをユーモラスにとらえた、心温まる作品を募集します。



# 第3回 全国紅葉前線 フォトコンテスト 入選作品発表!!

第3回全国紅葉前線フォトコンテストは年を追うごとに応募数が増え、今回は10,000点を突破しました。

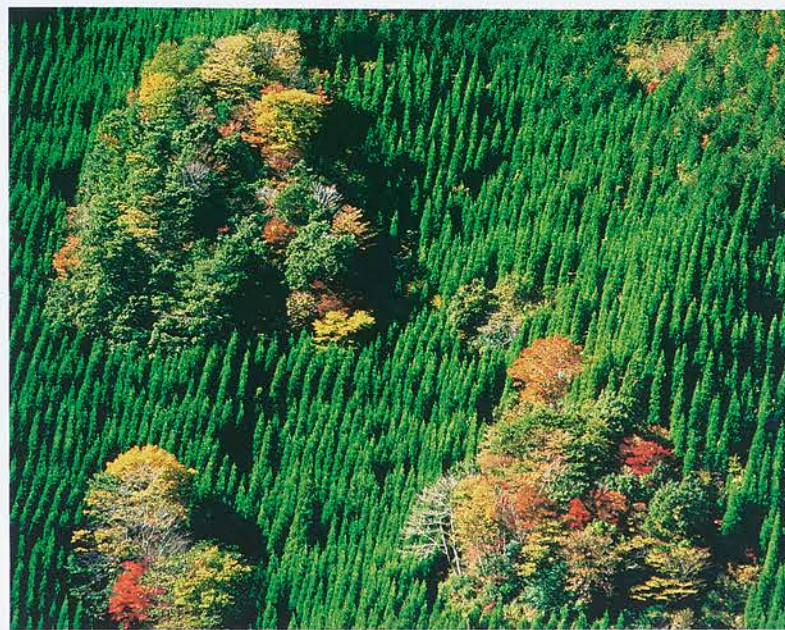
## 総評

平成6年は全国的に紅葉の色づきがあまり芳しくないといわれながらもレベルの高い作品が多数寄せられ、しっかりと探せば素晴らしい紅葉がいくらかでも見つかることを、応募者の皆さんが示してくれました。入選点数に限りがあるため泣く泣く選外とした作品にも優れたものが多く、次回もますます期待が持てました。

## フォトコンテスト審査員 竹内敏信氏



1943年愛知県生まれ。名城大学理工学部卒業。日本写真家協会会員。日本写真芸術専門学校講師、現代写真研究所講師。主な著書「天地聲聞＝講談社」「天地光響＝講談社」「欧羅巴＝小学館」「素晴らしい自然を写す＝朝日新聞」「櫻＝出版芸術社」など。



## 宮崎啓一さんに筑紫丘店岡林店長がインタビュー

**岡林店長** 撮影場所はどちらでしょうか？

**宮崎さん** 熊本県五ヶ荘です。

**岡林店長** 撮影のポイントをどこにおかれましたか？

**宮崎さん** 紅葉だけでおさえるのも芸がないと考え、紅葉を緑の中で活かそうとした訳です。

**岡林店長** 苦心された点は？

**宮崎さん** 話が基本的になりますが、カメラぶれには特に注意しました。

**岡林店長** 宮崎さんのカメラ歴、得意なジャンルは？

**宮崎さん** かれこれ40年になります。どんなものも撮影対象にしていますが、中でもネイチャーフォトに関心を持っています。今後も自然を大切にしながら撮影を続けていきたいですネ。

**岡林店長談** 宮崎さんは、当店の近辺では撮影上手な人としてかなり有名な方です。スライドプリントもご自身で焼かれるそうです。



**最優秀グランプリ** 「杉木立と紅葉」  
〈1名〉賞金30万円と楯 宮崎 啓一氏 (福岡県福岡市)

## 特選 <リバーサルプリント部門3名> 賞金20万円と楯



「晩秋＝橋本修氏  
奈良県大和高田市」



「沼の秋＝石川 宏氏  
宮城県古川市」



「赤と黒の幻想  
＝平田典久氏  
岡山県総社市」



「秋の日に＝巻島秀男氏  
埼玉県久喜市」



「落葉のコンチェルト  
＝山崎勝重氏  
北海道帯広市」



「彩＝杉浦 学氏  
岩手県盛岡市」

## 準特選 <リバーサルプリント部門5名> 賞金10万円と楯



「霧中の紅葉  
＝大野孫春氏  
愛媛県松山市」



「京慕情  
＝普水宏佳氏  
広島県広島市」



「秋色  
＝下村武志氏  
山口県下松市」



「雪妖の彩り  
＝山下正樹氏  
北海道亀田郡」



「朝日紅葉を照らす  
＝相川 誠氏  
東京都練馬区」



「イルミネーション  
＝本郷政彦氏  
千葉県市原市」



「彩流  
＝前田達朗氏  
長崎県諫早市」



「秋彩  
＝佐藤泰三氏  
愛知県豊橋市」



「色づく秋  
＝児玉久雄氏  
大阪府吹田市」



「野点 (のだて)  
＝城下 進氏  
鳥取県米子市」